

西海ブロック推進会議漁業資源・海洋環境部会報告書

会議責任者	西海区水産研究所長
-------	-----------

1 開催日時及び場所 日時 平成20年11月7日(金) 13:30~17:00  
場所 西海区水産研究所 大会議室

2 出席者所属機関及び人数 10機関 34名

3 結果の概要

議 題	結果の概要
1. 開 会	西海区水産研究所東シナ海海洋環境部長が開会を宣言。
2. 挨拶	西海区水産研究所所長から最近の情勢および部会の趣旨などについて説明された。
3. 座長の選出	東シナ海漁業資源部長を座長に選出した。
4. 協議事項	
1) 試験研究の実施状況に関すること	各県および西海区水産研究所の研究課題を一覧表として提示するとともに、本年度開始課題、重点課題についてそれぞれ説明を行い意見交換した。
2) 試験研究の成果に関すること	<p>漁業資源分野の成果が2件、海洋環境分野の成果が2件提出され、議論を行った。その結果下記の通りとなった。</p> <p>ア) 山口県日本海沿岸域におけるケンサキイカの漁獲実態と漁況予測(山口県水産研究センター)は図と本文に微修正を加え研究成果情報の候補として西海ブロック推進会議へ上げることとした。</p> <p>イ) 漁獲統計と生物測定に基づいた東シナ海におけるマサバとゴマサバの産卵場の推定(西海区水産研究所)は図の説明に微修正を加え研究成果情報の候補として西海ブロック推進会議へ上げることとした。</p> <p>ウ) 東シナ海における植物プランクトン現存量の制限要因の解析(西海区水産研究所)については「希釈法」への平易な解説を加え本文に微修正を加え研究成果情報の候補として西海ブロック推進会議へ上げることとした。</p> <p>エ) 九州西方海域における暖水渦の構造(西海区水産研究所)については本文に微修正を加え研究成果情報の候補として西海ブロック推進会議へ上げることとした。</p>

議 題	結果の概要
3) 試験研究のニーズと具体的な取り組みに関すること	<p>18年度および19年度に提出された研究開発ニーズについて昨年度以降の対応状況が説明され、協議の結果「温暖化に伴う主要魚種の漁獲量の変化予測に関する研究」を継続することとした。その概要は以下のようなものである。なお、20年度におけるニーズは提出がなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沖合域に関しては長期漁況海況予報会議の中で特異現象が取りまとめられ印刷されている。また、過去の特異現象については関係者間で、Web上で閲覧・検索が可能になるよう準備中である（試作品紹介）。</li> <li>・ 東シナ海・黄海の魚類誌に掲載された分布水温の知見を電子ファイルに取りまとめ関係者に配布した。</li> <li>・ 近年に日本海で急増したサワラについて、研究の展開状況を紹介した。</li> </ul>
4) その他必要と認められる事項に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁海況モニタリング定線の次年度計画に関するアンケートおよび海況パンフレットの作成について協議した。</li> <li>・ 本年5月にスペインで開催された地球温暖化の影響シンポジウムの概要を報告した。</li> </ul>
5. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成21年度水産庁予算の概算要求の概要を説明した。</li> <li>・ FRA-JCOPEの運用状況等について説明した。</li> <li>・ 水研センター依頼研究員制度を説明した。</li> </ul>